



いみん ゆめ  
移民の夢

TEPPEI MIYAKE SOLO EXHIBITION

三宅 哲平 × Alternative Entrance Tokyo

日時：2020年9月12日（土）～10月11日（日） 11時～17時 水曜日定休 [https://www.instagram.com/teppei\\_miyake/](https://www.instagram.com/teppei_miyake/)

場所：Alternative Entrance Tokyo (o3 inn Tokyo) 東京都墨田区押上3-25-17 <https://www.facebook.com/miyake.teppei>

**HIRAI**日本語学校  
Tokyo HIRAI Japanese Language School



学校法人 滋慶学園 東京都認可の専門学校  
東京福祉専門学校



会場地図

# 三宅哲平個展 「移民の夢」

2020年9月12日（土）～10月11日（日）

## 展覧会概要



スカイツリーからほど近い押上の宿泊施設「Alternative Entrance Tokyo」の1階、3階、屋上を利用して、三宅哲平の個展「移民の夢」を開催致します。本展は「すみだ向島エキスポ2020」の一企画として開催されます。近作を中心に15点を展示、11時～17時までは展示空間として、夜はアート作品のある空間に宿泊可能となっています。

本展示の元のイベントである「すみだ向島エキスポ2020」は、戦災を逃れ焼け残った長屋などの墨田区特有の生活文化を「隣人と幸せな日」というテーマのもと、新しい現代の家族像としてアップデートしようという試みです。

一方三宅哲平の作品は、日本と西洋、多神教と一神教、偶像崇拜と非偶像崇拜といった戦後の日本人の分裂的な精神構造を背景に、キリスト教由来のARTと土着化したアートの差異を受け入れる困難に根差しています。アートの制作の継続に困難を来した結果、彼は20代の後半の一時期にアートを離れ、新たな葬送儀礼の創作と販売を試みます。その失敗の経験の中で、自分自身の中に脈々と息づく戦後の日本人が持つある種の病理に気がきます。それはカタカナのARTによって価値を相対化しているようで、実は真逆に帰結にしているのではないかという疑念でした。というのもそれは一言で言えば、第二次大戦期に流行した近代の超克的な発想と類比的な関係だったからです。加えて皮肉なことにそうした挫折体験が西洋由来のARTを理解することを可能にしたと彼は言います。つまり、そこで初めてイコノクラスムとしてのART、パラドクス・オブジェクトとしてのARTを知ることができたのです。

今回の展覧会では、そうした経験を経て改めて制作した近作を発表致します。彼の作品は、偶像崇拜や空や無常や無明が染み込んだ体で、原罪と自由との関係において、愛や市民ということの意味を今一度問い直す行為であると言えます。これはシュヴァイツァーがいう「世界人生肯定的な倫理」と「世界人生否定的な倫理」の横断のようなものです。

メインの作品である「移民の夢」では、新たな試みとして留学生や技能実習生などの外国人労働者の問題に触れます。隣人とは誰かという観点から、まずは私たちの身の回りにいる見えざる移民の声をシンプルに集めます。彼らは当然ながら、移民である前に、安い労働力である前に、ベトナム人である前に人間です。「人間を人間として見る」というキング牧師の言葉を引くまでもなく、それはキュレーションされ分断されつつある世界に生きる私たちに今、最も必要な態度のひとつです。アンケートには移民の声ではなく、人間の声が見えるはずで、留学生が描いた絵はその場で販売され、彼らの支援に充てられます。

展覧会名	三宅哲平 移民の夢
会期	2020年9月12日（土）～10月11日（日）
休場日	毎週水曜日
開場時間	11:00～17:00 （すみだ向島エキスポ全体としては10:00～18:00）
会場	Alternative Entrance Tokyo （ <a href="https://o3inntokyo.com/ja/home-jp/">https://o3inntokyo.com/ja/home-jp/</a> ）
主催	すみだ向島エキスポ
作家HP	<a href="https://www.instagram.com/teppei_miyake/">https://www.instagram.com/teppei_miyake/</a>
お問い合わせ	08056468051 amanita.pantherina@gmail.com



## 展覧会の特徴

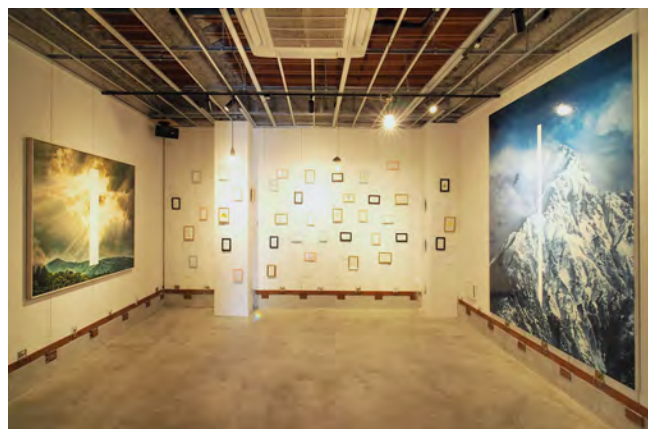
## 今改めて、自由を問い、市民とは何かを考える

本展は、オリジナルという偶像を問う「Copy Series」、自分自身の宗教観を表現する「Confession Series」、想像することとは何かを問う「Tomb Series」、それ以前に新しい葬送儀礼として作られた「遺灰紙」、そして本展の表題でもある最新作の「移民の夢」から構成されています。

概要でも触れた葬送儀礼の制作の段階から、アートの制作を再び始め、Copy Series、Confession Seriesを経て今回の移民の夢に至る過程は、ちょうど原罪に基づく自由を知り、告白を経て、社会倫理を持つことを望み、そして市民になろうとする過程が重ねあわされています。



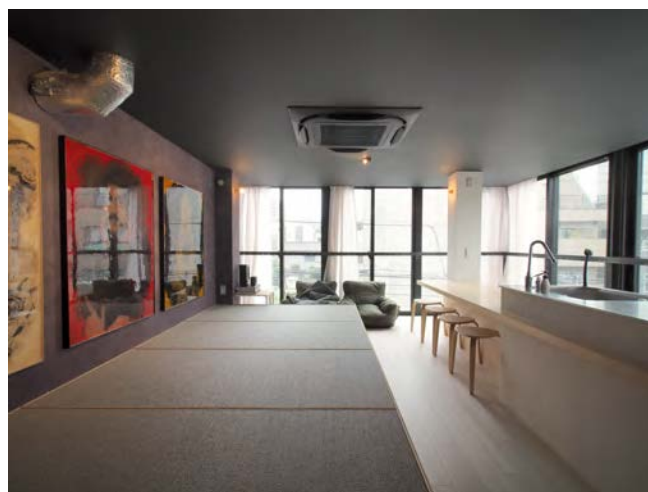
1階入口展示風景



1階奥展示風景



3階入口展示風景



3階展示風景



Tomb Series



屋上展示風景

三宅哲平

131-0044 東京都墨田区文花3-7-1

080-5646-8051

amanita.pantherina@gmail.com

#### 個展

2011 「ONE MERE ASSUMPTION」 G671ギャラリー、東京

#### グループ展

2012 「Parallel Waves」 Red Elation Gallery、香港

2019 「スタジオオープニングイベント」、東京

2020 「Phase 2」、東京

「枕崎国際芸術賞展」、鹿児島

「FACE展（損保ジャパン日本興亜美術館賞展）」、東京

#### アートフェア

2012 「Young Art Taipei」、台湾

「Asia Contemporary Art Show」、香港

2013 「Asia hotel Art Fair」、香港

「Young Art Taipei」、台湾

#### 賞

2019 第二回枕崎国際芸術賞 協賛賞

2020 FACE2020 損保ジャパン日本興亜美術賞 入選



Amenotep IV, 2019

Copy paper, acrylic, resin and canvas on wood panel  
91 x 116.7 cm



Mt. Aka, 2019

Oil on canvas  
194 x 162cm

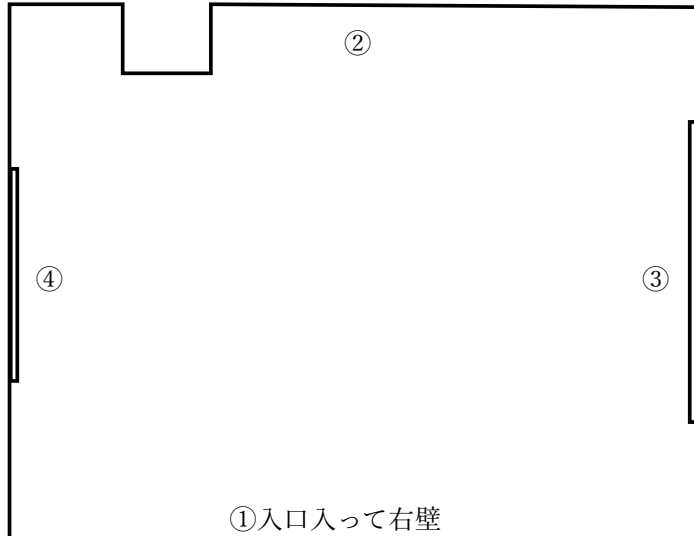


Tomb Series, 2020

A bone of mouse in Shinjuku, soil, slaked lime, resin, wood, silicone coating  
29.5 x 17 x 10 cm

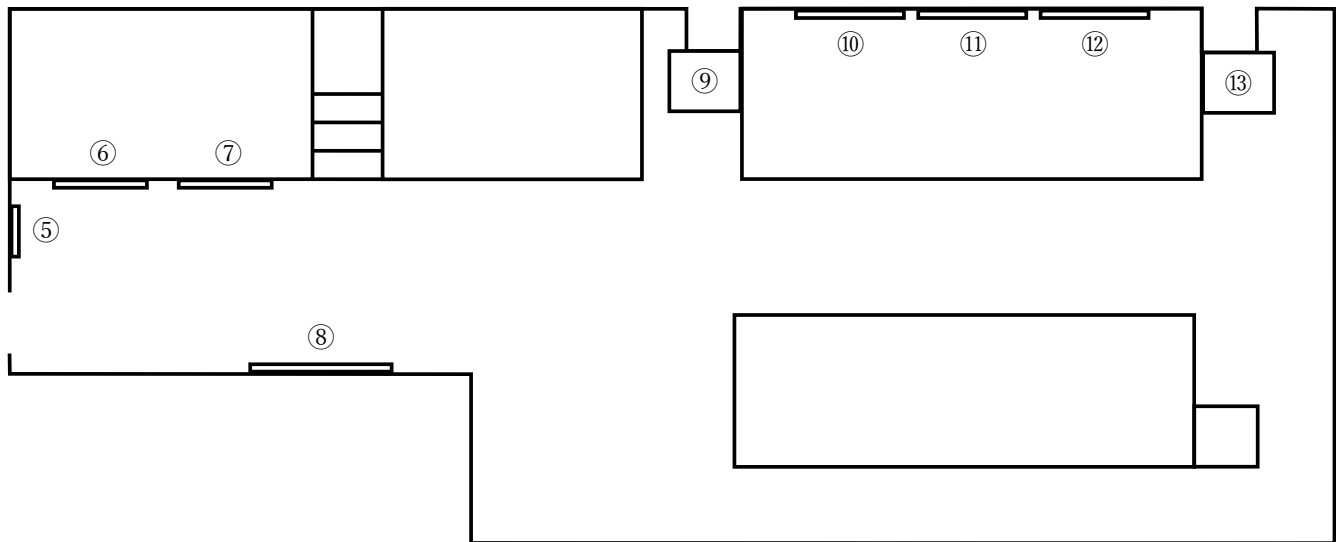
# 会場作品案内図

## 1階



- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| ① 遺灰紙                  | ⑨ Tomb Series |
| ② 移民の夢                 | ⑩ 法隆寺金堂壁画     |
| ③ Mt. Tsurugi          | ⑪ カルヴァン       |
| ④ Light                | ⑫ アメンホテプ 4 世  |
| ⑤ Please Help Yourself | ⑬ Tomb Series |
| ⑥ Stars                | ⑭ Tomb Series |
| ⑦ Sunset               | ⑮ 移民の夢        |
| ⑧ Crystal              |               |

## 3階



## 屋上

